

# 生涯学習におけるダンス

—地域主催の行事におけるアトラクションとして—

福島大学 鈴木裕美子

## 1. はじめに

伊達市上保原地区体育協会では、長年にわたって開催してきた運動会を、平成17年度からファミリースポーツフェスティバルとして内容を大幅に変更して実施することになった。その背景には、少子高齢化、生活の多様化、共同体意識の希薄化、行事参加への負担感などがあり、従来の方法では継続が困難となったためである。平成16年度はついに中止となり、ホッとした人と、行事がなくなって寂しいと感じた人の2通りに分かれた。そこで、行事を復活・成功させるために、内容だけでなく、アトラクションも工夫されることになった。

## 2. 研究目的

行事を成功させるためにプログラムされたダンスの価値について考察する。

## 3. 研究方法

期間：平成16年12月～平成18年9月

場所：伊達市上保原公民館および伊達市立上保原小学校

対象：平成17年9月11日と平成18年9月10日に開催された行事で実施されたダンスプログラム

- ①「よさこい踊り」(三日市YOSAKOI踊りたい)
- ②「ストリートダンス」(福島大学ダンス同好会・公認サークル「D.FOOL」)
- ③「保原よいとこ踊り(手ぬぐい踊り)」(婦人会)
- ④準備運動として開会式で踊ったダンス

方法：プログラム作りと当日の運営を担当することで、ダンスの果たす役割を追究した。

## 4. アトラクションとしてのダンスのタイプ

A 発表型 (演者⇒観客)

- ①イベントのために新たに取組まれたもの(国体集団演技など)
- ②日頃の練習の成果を公開(地域の文化祭など)
- ③コンクール形式

B 参加型 (演者⇔観客)

- ①行事、娯楽、健康作り(盆踊りなど)
- ②メインイベント終了後の交流(後夜祭など)

C 応援型 (演者⇒競技者、観客⇒競技者)(スポーツ大会などの応援)

## 5. ファミリースポーツフェスティバルのプログラム

- ①鼓笛隊パレード
- ②開会式
- ③競技(7種目)および体力測定(5種目)
- ④アトラクション
- ⑤閉会式

## 6. 結果と考察

鼓笛隊の演奏で幕開けし、開会式、競技および体力測定のと3つの団体のアトラクションが発表された。活気のあるよさこい踊り、アクロバティックなストリートダンスの演技を鑑賞して参加者は疲れた身体を休め、全員参加の伝統的な手ぬぐい踊りで交流を深めた。3つの団体は日頃から練習に励んでいるサークルで、各団体にとっても発表の場を与えられたよい機会であった。

### ①「よさこい踊り」<発表型②>(発表年度)

小学生から大人まで幅広い年齢層の会員と参加者の飛び入りとで「北の舞(17)」「よっちゃれ(17,18)」「島人の唄(18)」「保原新風(18)」を披露。この団体は結成5年目で、会員は30名。町内・市内の諸行事や県大会にも積極的に参加している。

### ②「ストリートダンス」<発表型②>

倒立や頭を床につけて回転するなど、ストリートダンスの典型的なシーンに観客は拍手喝采。伝統的な踊りやフラメンコ、社交ダンスの盛んな地域ではあるが、ストリートダンスを実際に初めて見た人が多かった。また、当日、他団体の役員から行事での発表申し込みがあった。

### ③「保原よいとこ踊り」<参加型①>

昭和初期に平林宥尚作詞・久保内三喜夫作曲。昭和15年には当時の小学6年生がNHKラジオに出演、全県下に放送。いつの頃からか歌われなくなったが、2004年に女性有志によって復活され、町おこしの一環として盆踊りや集会、各種イベント等で楽しく歌い踊ることを通して、次の世代へつなげて行きたいと活動している。(町政日誌2004.9.1より)手ぬぐいを持って情緒豊かにゆっくり踊り、整理運動としての効果もあった。

### ④その他：準備運動としてのダンス<参加型①>

参加意識の高揚と怪我の予防を目的とし、心身をほぐし、リズムにのって身体を動かした。日頃の運動不足や、意識と動きのギャップを自覚させる効果があった。

## 7. まとめ

平成17年9月11日当日は雨天にもかかわらず350名の参加があった。前年度の成功をふまえて、平成18年度はさらに多くの団体の協力が得られ、天候にも恵まれて、700名が参加した。アトラクションは、その場でできる簡単な踊りの参加型と高度な技を披露する発表型、また、和風・洋風、若者向き・年配向きなどバラエティに富んだプログラムで、参加者を満足させた。

行事を成功させることで、地域住民の共同体意識を高め、教育力や健康意識の向上、犯罪の防止などが期待でき、地域の活性化につながる。ダンスはその補助的役割を果たすことが可能で、地域おこしに有効な活動の1つになるといえる。